

好調な鮎貝地区地域交流商業施設

6月10日に委員会が開催され、鮎貝地区地域交流商業施設の状況について説明を受けた。

【経過】

令和2年4月24日（金）オープンを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、5月13日（水）に日程を変更しオープンした。

質疑

特に果物を含む青果については売れ行きが好調である。

【委員】移動販売事業は、いつ頃を目標に、どのように検討しているのか。

【当局】職員によるワーキンググループで検討している。その後、町民の意見を受けて実施に向けて検討していきたい。

【委員】来客数はどのくらいか。また、営業時間はどうなるのか。

【当局】来客数は平日で約550人、休日で約600人である。営業時間については24時間営業となる。



期待を込めて
テープカット

厳しい結果となった財団経営

一般財団法人白鷹町アルカディア財団の経営状況について説明を受けた。
(次頁に関連記事)

【事業・決算の概況】

観光交流推進を重要課題と位置づけ、確実な事業展開と経費の節減に取り組んだ。温泉の活用と食事などを組み合わせ「健康づくり」をキーワードとした事業に取り組みとともに、町内各施設などの受託事業の適正かつ円滑な遂行に努めてきた。しかし、3月に入ると、新型コロナウイルスの影響により宿泊・宴会のキャンセルが相次ぎ、当期一般正味財産増減額は、約646万円の赤字となった。

質疑

【委員】6月の補正予算で施設の調査業務を委託するということが、経営改善に視点を置いたものなのか。

【当局】建設後、34年を経過しており、老朽化が進んでいる。施設の利便性向上、源泉の安定確保が課題となっている。効率性、安全性の視点を踏まえて、施設の調査業務として状況確認、検討、検証を行う。令和3年度から中期経営計画策定期であるので、この調査も併せて行いたい。

【委員】一般財団法人にした段階で、理事が経営責任を負う。理事会が開催されていて、3月だけで、約640万円の赤字が出たのか。



対策も万全でお待ちします

【当局】理事会のほか毎月理事協議会で確認している。経営責任は、理事長及び理事にある。2月期まではトータルの見込みとして赤字で推移するものとみていた。通常のベースであれば黒字決算の見込みであった。

【会議の開催】

- ① 理事会 6回
- ② 評議員会 5回
- ③ 監査会 2回

その他
○一般社団法人白鷹町観光協会の状況について説明があった。